

協同組合いばらき大工棟梁の会

組織機能の強化で儲かる仕組みをつくり技能伝承を！

住 所	〒300-0061 茨城県土浦市並木4丁目6-4801-1		
電話番号	029-869-7880	U R L	http://ibaraki-daiku.jp/
設 立	平成28年4月	出 資 金	720千円
主な業種	木造建築工事業、土木建築サービス業	組 合 員	26人

■背景と目的

木造住宅に関わる大工・工務店は、住宅着工戸数の伸び悩み、大手ハウスメーカーとの競争激化、住宅工法やユーザーニーズの変化への対応力・提案力の弱さなどから受注及び収益が減少。それに伴い廃業者の増加、後継者不足が進行し、木造住宅建築における伝統技術の継承と技能者育成の必要性が高まっていた。

■事業・活動の内容と手法

伝統技術の継承と技能者の育成を図るためには、大工・工務店の経営力向上が必須であるとの考えから、これまで活動してきた任意組合を母体に事業協同組合を新たに設立した。

任意組合当時から月1回、理事会と定例会を開催し、現在も継続している。定例会では木造住宅建築に係る技能・技術向上、販売戦略等の研修及び情報交換を行っている。その内容は役員会で協議・検討し、時宜に合ったテーマを設定している。受注斡旋事業、共同受注事業実績の向上を図るため、ホームページ、SNSでの情報発信、リーフレットの制作・配布などを行い、木造住宅の利点の周知に努めている。

また、共同宣伝事業の一環として、各種イベントに積極的に出展し、木造住宅建築、リフォームの相談に応じるとともに、子供向けにプランターやマガジンラックを作る木工体験を実施している。

これら事業が円滑に実施できている要因として、理事長をはじめ理事の結束力とリーダーシップ、そして組合員の取引先である製材会社の支援・協力が重要な存在として挙げられる。

■成果

定例会を通じて、組合員間の相互理解や課題共有が図られている。若手組合員も積極的に定例会に参加するなど、全体の参加率も向上し、世代間の垣根を越えて、切磋琢磨して木造住宅建築の技術向上と技術継承に取り組んでいる。共同宣伝事業の効果もあり、法人化後、初年度の受注斡旋事業は、新築2件、リフォーム2件の実績。現在、商談中の案件もあるなど、組合員の経営力向上を図るために順調なスタートを切ることができ、組合員の帰属意識も高揚している。



▲定例会の様子



▲イベント出展の様子



技能伝承が途絶えてしまうという危機感を共有したことで連携力が強化。組合員が一丸となり、またステークホルダーの支援・協力の下、課題解決に取り組んでいる。

A

後継者の育成／技術・技能の継承／人材確保・育成

B

新たな販路開拓・市場開拓

C

特徴ある活動による組織課題への対応